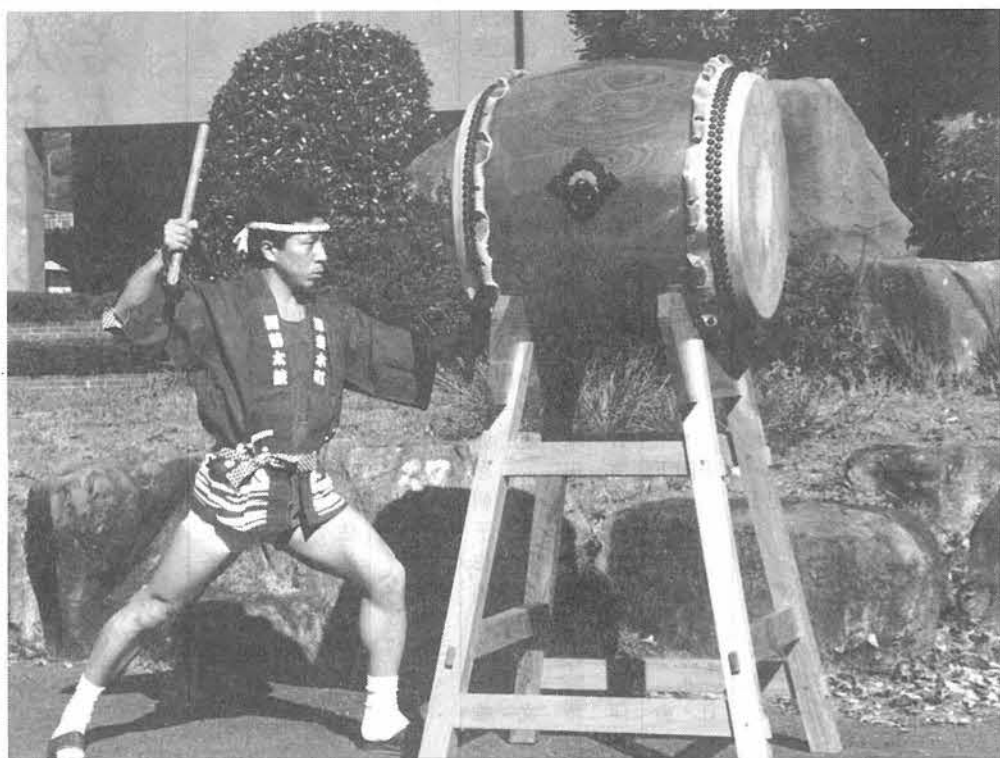


迎春



津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話(78)311111
印刷所 旭印刷
電話(水俣)64101番

開は、県庁食堂で二十一日から竹の割箸を使用すると報じた。木製の箸は環境破壊の点で問題があり、竹箸を使えば県内の竹産量を振興するのが目的だと言った。今迄県庁食堂では一日約千六百膳、年間四十三万膳の木の割箸を使い、これは三十五年生の杉二十五本分で約八立方メートルである。一立方メートルで五万五千本の割箸が出来る。日本林業調査会刊「木材に強くなる本」によると、昔は殆んど杉や松の端材

津奈木町長 六車孝吉

割箸と環境破壊

茶懐石に用いる利休箸は、千利休の考案になる胴太細の杉箸である。使用時、水で濡して供せられ、これは清めの意味があり、更に木の香りを出すためと言った。日本人は昔から今に至る迄、木造の家に住み木の道具に囲まれて暮らしてきた。一部の都会生活者を除いて、これからも続いていくと思ふ。昨年五月十五日付熊本日日新聞、その〇・三〇程度が箸として



今、日本経済の中で、木材価格の暴落により、値打なしの山と言われて久しい。今、思う我が故郷、津奈木の山がよく管理され、手入れが行き届き天の恵みである雨水をしっかりと受けとめ、大地に吸いとり、町民に大いなる自然の恩恵を与えてくれる山々であって欲しいように思ふながら割箸をそっとしまい、愛用の漆箸で、「いただきます。」

新年明けまして お目度うございます。正月の膳を前にして、ふと目を落とすと、割箸の入った祝い箸が目についた。地球環境破壊のもととなる熱帯雨林の伐採の元兇のごとく言われている箸である。日本人の食生活には欠かせない箸、何気なく毎日使っている割箸である。熱帯雨林の伐採により、地球気象の大きな変化、それによる大地の砂漠化、または、炭酸ガスの増加など、様々な事柄をこの割箸が声にならない声で教えてくれているような気がしている。今私達の故郷で正月を迎え、重盤岩をまん中に緑の木々におおわれた山々を見ることが出来るのはなんと素晴らしいことかと、心より思われるようになってきた。

一言

新年明けまして お目度うございます。正月の膳を前にして、ふと目を落とすと、割箸の入った祝い箸が目についた。地球環境破壊のもととなる熱帯雨林の伐採の元兇のごとく言われている箸である。日本人の食生活には欠かせない箸、何気なく毎日使っている割箸である。熱帯雨林の伐採により、地球気象の大きな変化、それによる大地の砂漠化、または、炭酸ガスの増加など、様々な事柄をこの割箸が声にならない声で教えてくれているような気がしている。今私達の故郷で正月を迎え、重盤岩をまん中に緑の木々におおわれた山々を見ることが出来るのはなんと素晴らしいことかと、心より思われるようになってきた。

新年明けまして お目度うございます。正月の膳を前にして、ふと目を落とすと、割箸の入った祝い箸が目についた。地球環境破壊のもととなる熱帯雨林の伐採の元兇のごとく言われている箸である。日本人の食生活には欠かせない箸、何気なく毎日使っている割箸である。熱帯雨林の伐採により、地球気象の大きな変化、それによる大地の砂漠化、または、炭酸ガスの増加など、様々な事柄をこの割箸が声にならない声で教えてくれているような気がしている。今私達の故郷で正月を迎え、重盤岩をまん中に緑の木々におおわれた山々を見ることが出来るのはなんと素晴らしいことかと、心より思われるようになってきた。

平成二年度

第九回 津奈木町文化祭行われる

精魂込めた作品が並ぶ

平成二年度の文化祭は、去る十一月十、十一日の両日にわたって行われ、多くの参観者で賑わい、盛会裡に終了した。展示部門は、B & G 体育館を会場に、絵画、書道、写真、陶芸、寒蘭、菊花、生花、手芸等の力作が並び、一年間の精進の結晶だけあって、参観者に深い感銘を与えた。中には、作品談義に花をさか

した。会場の設備もよく、ステージも客席もひとつになって十分に楽しんだ二時間余りであった。開基の部は、改善センター和室で、静寂な中に、石を打つ音だけが響き真剣に日頃の腕を競った。展示部門表彰者



咲きほこる菊の花

陶芸に見入る人々



絵画クラブの力作



小中学生の絵画



きれいに生けられた花

新春甘夏三太郎駅伝に応援を

戦後間もない昭和二十四年に始まり、今回で四十一回の歴史と伝統を持つ三太郎駅伝競走大会が、来る一月十三日(日)水俣市役所前を午前九時にスタート、田浦町農業就業改善センターをゴールとする四十一キロ(一般・高校五区間、中学十区間)のコースで、行われます。

水俣市、芦北郡三町はもとより日奈久、二見より一般・中学生チームが参加、本町より一般A・B二チーム、中学一チームが参加します。

一般チームは、昨年十月より選手各自は年間を通して練習しているが、毎週三回全員が集まり強化練習を実施してまいりました。前大会では、A・B二チームを合せての総合成績では三位であったが、津奈木Aチームは八年ぶりの単独優勝でした。今大会でも浜本監督と選手が一丸となって昨年以上の成績を目指し頑張ります。また、中学チームも門崎先生の

凧あげ大会のお知らせ

恒例になっている新春凧あげ大会を来る一月二十日(日)九時三十分より町総合グラウンドで行います。親子一緒に参加も大いに歓迎、多数の皆さんの参加をお願いいたします。

マラソン大会について

例年十二月風ん子マラソン大会が行われていたが、二月中旬開催予定の産業祭を盛り上げるため、ブロンズマラソン大会として同日実施されることになりました。

私のアイデア料理

大泊 柳迫 妙子

太刀ずし

【材料】太刀魚下4匹、5匹、米1.5カップ、酢大さじ2、砂糖大さじ2、塩小さじ1、甘酢カップ1、だし昆布少々。【作り方】①太刀魚は2枚におろし甘酢に30分ぐらいつけて置く。②すし御飯を作る(御飯を炊く時に、だし昆布を入れるといいです)合せ酢は、基本で記して有りますので、我が家の好みにして下さい。③すし巻に魚を置き、わさび少々とし飯をのせて形を整え、3cm長さに切って盛りつける。注意する事は甘酢につけた魚の色が、変らない様にします。

シャコ入りコロツケ

【材料】シャコ8匹、10匹、馬鈴薯3コ、人参少々、玉ねぎ中ずし。①馬鈴薯を茹でて、粉ふきいものに砂糖少々、塩コショウ少々、正油少々、味の素少々。【作り方】②玉ねぎと人参はみじん切りにして、砂糖・塩コショウ・正油を少々入れ油でいためる。③シャコを塩茹でして実を取り小さくほぐして置く。④(1)・(3)の材料を全部まぜ合わせて、味を好みの味に整えたわら状の形にする。⑤(1)粉(2)とき卵(3)パン粉の順に、衣をつけて油で揚げる。



【材料】シャコ8匹、10匹、馬鈴薯3コ、人参少々、玉ねぎ中ずし。①馬鈴薯を茹でて、粉ふきいものに砂糖少々、塩コショウ少々、正油少々、味の素少々。【作り方】②玉ねぎと人参はみじん切りにして、砂糖・塩コショウ・正油を少々入れ油でいためる。③シャコを塩茹でして実を取り小さくほぐして置く。④(1)・(3)の材料を全部まぜ合わせて、味を好みの味に整えたわら状の形にする。⑤(1)粉(2)とき卵(3)パン粉の順に、衣をつけて油で揚げる。

【材料】シャコ8匹、10匹、馬鈴薯3コ、人参少々、玉ねぎ中ずし。①馬鈴薯を茹でて、粉ふきいものに砂糖少々、塩コショウ少々、正油少々、味の素少々。【作り方】②玉ねぎと人参はみじん切りにして、砂糖・塩コショウ・正油を少々入れ油でいためる。③シャコを塩茹でして実を取り小さくほぐして置く。④(1)・(3)の材料を全部まぜ合わせて、味を好みの味に整えたわら状の形にする。⑤(1)粉(2)とき卵(3)パン粉の順に、衣をつけて油で揚げる。

【材料】シャコ8匹、10匹、馬鈴薯3コ、人参少々、玉ねぎ中ずし。①馬鈴薯を茹でて、粉ふきいものに砂糖少々、塩コショウ少々、正油少々、味の素少々。【作り方】②玉ねぎと人参はみじん切りにして、砂糖・塩コショウ・正油を少々入れ油でいためる。③シャコを塩茹でして実を取り小さくほぐして置く。④(1)・(3)の材料を全部まぜ合わせて、味を好みの味に整えたわら状の形にする。⑤(1)粉(2)とき卵(3)パン粉の順に、衣をつけて油で揚げる。

忘れられぬ一言

山本 茂夫

もう三十五年も前の十二月一日の夜、鹿児島市内のもと、私の務めていた社長さんの一家団欒の夕食に一緒に御馳走になっていました。色々お話しがあって、その中で「君は英語が出来るかね」と云われ、少しとまどって返事に困っていたら、社長さんが英語を使われました。その程度なら私も出来ないこともなかったのですが、だまっていたら「君は英語で晩成型の様だな、しっかり頑張ってください」と云われました。何か失敗した様な気分でありました。その次の日から、その社長さんの会社で七年間働くことになりました。

社が発展するように、自分の仕事の責任の重さを考えながら一生懸命会社のため、延いては自分のためと頑張りました。ところが間もなく、私の父の急死に合い母親からは非会社を辞めて帰ってくる様に云われ、すぐく

真面目の上にくそがつく。何処に行っても務まる。と社長さんが何げなく云われた言葉を今でもはつきり覚えていて忘れることができません。この会社での生活が私の物の考え方の基を作ってくれたと思っております。今、教職にあり、未来を背負って立つ生徒の指導にあたりながら、自分の言動が、生徒一人ひとりに非常に影響を与えていることを常に考え、教師として、真摯な態度で、そして深く考えて行動せねばならないと思っております。また若者へ活力のある一言が与えられるように、まだまだ勉強しなければならぬと、自分自身に云いきかせているところです。

鳥居保さん 短歌・肥後狂句集 の手づくり出版

中尾の鳥居保さんは、来年四月米寿を迎えるのを記念して、この程、今まで詠んできた短歌や肥後狂句をまとめておきたいと思い、句集を手づくり出版された。「折々草」と命名、自分で書き、コピーし、製本し、すべて一人で作りあげた貴重な句集である。

この句集には短歌三八首、肥後狂句八〇句が収録されている。鳥居さんは小学生の頃から短歌に興味を持ち作り始めたが、落着いて作るようになったのは、蒙古から帰国してからのことだそうだ。



▲句集を手にした鳥居さん

町の話 題

掲載されている。鳥居さんは小学生の頃から短歌に興味を持ち作り始めたが、落着いて作るようになったのは、蒙古から帰国してからのことだそうだ。

前母子会長 片桐マヨさん表彰される



浜崎の片桐マヨさんは昭和二十四年に本町母子会長に就任以来、本年三月まで実に四十一年の長期にわたり母子家庭の生活向上と安定のために努力してこられました。去る十月、永年勤続功労を以て

三校区津奈木連合婦人会では、去る十二月二日唐津方面へ役員研修を行いました。行先が遠かったので七時出発。家族の理解と協力により、ほとんど全員参加されました。最初の鏡山からの唐津は曇空でしたが、すばらしい眺めでした。虹の松原を通り抜け唐津城へまた舞鶴城とも呼ぶ、本町の舞鶴公園との関わりを憶測しながら、まだ残る紅葉を惜しみながら、次に曳山展示場見学、唐津くちの出し物曳山、多種多様な姿の造型美(二四ト)もあり、完成には二年前後を要し、最初の奉納

「健康づくり」講演会開催

去る十一月九日、平国コミュニティセンターで健康づくり推進事業の総会が行われ、平国老人会と町内老人会各支部長さんたち約六十名が出席した。この中で、県老連事務局長石崎新喜氏の講演があり、日常生活に即したわかりやすい内容で、要旨は次の通り。健康の維持増進は自分の身体をよく知り、自分で健康管理をせねばならない。運動の内容、やり方

短歌

宮崎 優選

霧はれて朝の牧場に調教の馬美しく走り出て来る。むづがれる孫あやしい部屋にいてもくせいの花の匂い流れる。夕顔の秋深まりてなおも咲く真白き大輪夜空に浮きたつ。朝白く曇桃色に夕べには真赤に染まる酔芙蓉咲く。

肥後狂句

堀 双岳選

刈田にはいまだ残れる稲架ありて倒れしままに露に濡れる。籬より葵をはじめて飛び散りぬ小豆はひとひと日かそけき音し。玉ネギを植えゆく前をセキレイの急ぐともなく土たたきゆく。おくんちを終えし唐津の街路樹の南京はぜは緋の色に燃ゆ。

万年寺で本尊光明寺へ

中尾地区に万年寺という寺があったことは、竹田酒造が万年池と名乗っていることでもわかる。万年寺は同区公民館の横手、農崎政治



内野集落 新農業自立運動推進大会で受賞

先般、熊本県立劇場で行われた新農業自立運動推進大会の席上、県下一七〇のモデル集落の中で、他都市の一〇集落と共に内野集落の活動が認められ、芦北郡では唯一つ栄えある受賞をした。新農業自立運動とは地域の特色を生かしながら、夢と希望、自信と誇りが持てる将来の農業を築いていこうという運動で、農業にたずさわるすべての人たちが知恵を出し合い、創意工夫を重ね生産性の高い農業、快適で住みよい農業環境の実現をめざすものである。内野集落では昭和六十二年度よりモデル集落として各農家が積極的にこの運動に参加し、協力して運動の推進を図ってきた。水田農業確立対策の効率化、裏作としてオクラ、玉葱の栽培、共同育苗施設の設置により優良品種の普及、各種研修会の開催など地域ぐるみで村づくり運動が展開されている。

▲自立運動を推進する面々